



学校だより

名古屋市立

高針台中学校

R 6.3.19 NO.12

☆ 1年生「援助希求力」の授業について

今年度も、1年生を対象に「援助希求力」の育成をテーマに、2月8日（木）に外部講師として西川絹恵先生（教育センター嘱託心理士）をお招きし、「自分と相手を理解して人間関係を良くしよう」と題した講演会を、その後2月22日（木）に、各クラスで「SOSの受け取り方」としてロールプレイを行い、「傾聴」について学びました。

そして、3月8日（金）に校長講話の後、保護者代表としてPTA会長寺嶋聡さん、卒業生代表として藤井羽那さんからも映像による講話をいただき、悩んだり、困ったりしたときに、どのように対応したら良いかについて学習しました。ここでは、校長、寺嶋聡さん、藤井羽那さんの講話についてご紹介させていただきます。

<校長講話>

今日は、3月8日ですが明日の3月9日。3年前の今日、今高校1年生が中学1年生だった頃、大変悲しい出来事がありました。困っていることを安心して相談することがし辛かった、困っていることをしっかり解決してあげられなかった、結果、支えることができませんでした。

みなさんが通うこの高針台中学校でこのような出来事が起きてしまいました。みなさんにも苦しい思いをさせてしまい、大変申し訳ありません。

私たち、高針台中学校のすべての先生や職員の人たちは、この出来事を決して忘れません。だからこそ、この高針台中学校から、困っていることで苦しい思いをし続ける生徒を絶対なくしたいと思っています。生徒のみなさんを助けたいのです。

そこで、みなさんの感じていることを「スマイルアンケート」や「気づいている？ ところのSOS」、「WEBQU」などのアンケートで月に1回程度確認し、みなさんが困っていると感じていることがあれば担任の先生にすぐに対応してもらっています。

また、困っている状況であれば、まずは教室以外の場所で落ち着いて学校生活を送ることができるように、別室やスマイルルームで対応もしています。そして、皆さんに、困っているとき人に助けを求める力、言い換えれば援助希求力を身に付けてほしいと考え、まずは2月8日の西川絹恵先生の「自分と相手を理解して人間関係を良くしよう」の講演会、次に2月22日の相談する側・される側を実際に体験する「ロールプレイング」、そして今日、3月8日、卒業生の体験談と卒業生の保護者の思いを聞き、学級で話し合うという3回の授業を計画しました。

相談する人は学校の先生や職員だけでなく仲間、家族、さらには外部の人など誰でもかまいません。相談できる外部機関は、既にみなさんに配付してある生徒手帳の38ページから39ページにも書かれています。大切なのは一人で抱え込まないことです。

この後、各教室でグループでの話し合い、学級での話し合いがありますが、どうか理想論を並べるようなきれいごとで決して終わらないでください。

これまで、本当に困ったことに直面したとき、人に相談できなかったことがみなさんは必ずありましたよね。そういう状況をみなさんがイメージして、今後どうすればいいのかということ、本音で話し合ってください。

みなさんが、本音で思いを話し合い、それぞれの思いを出し合うことが今回目指しているゴールです。そこから、人に相談することを本気で向き合うことになると思います。

最後に一つ皆さんにお願いがあります。今日、皆さんには、皆さんが卒業生に渡したものと同じ、学校で育てたコキアの種を渡します。実は、この種は、3年前、困っていることを抱えていた先輩が下校するとき西門でよく話をしていましたが、その横で育てていたコキアの種から育てたものです。コキアの花言葉の一つには、「あなたにすべて打ち明けます」という意味があります。この種は今後も学校で育てていきますが、皆さんもお家で育ててほしいです。この種からコキアを育てることで、「大変悲しい出来事がこの学校で起きたことを忘れない」とともに、「今、困っていることを一人で抱え込まずに人に相談できているか」「困っている人にそっと手を差し伸べることができているか」と、自分を振り返る機会にしてほしいと思います。

2月の授業から感じてきたこと、そして、今日感じたことをしっかり胸に焼き付けじっくりと考える、そんな1時間としてください。

<保護者代表 寺嶋聡さんの講話>

1年生の皆さん、こんにちは。PTA会長の寺嶋です。

皆さん、日頃楽しい中学校生活を送っていますか？「楽しい中学校生活」を送っているというのは理想ですが、現実やはり、ストレスをたくさん抱える日々がありますよね。そんな中で、例えば勉強でのストレスもあれば、部活でのストレスもある。また、仲間とけんかをしてしまったことによるストレス。ストレスにもいろいろな種類があると思います。ただ、友達との間で起きたトラブルなどは、「誰に相談したらいいのか」「これを言ったらチクったと言われるのではないか」など、いろいろなことを思ってしまうかもしれないですよね。それで、抱え込んでいたことに気付けば学校に行きたくなくなってしまう、そのようなことにつながってしまうかもしれません。だからこそ、皆さんはもっともっと親であったり、学校の先生、また友達に聞いたり相談したりしてほしいと思います。大事なのは、「今のこの状況から、よりよい状況をつくるために相談する。」そんなことを意識することで、日々が大きく変わります。

だから皆さん、この中学校生活では、日々ストレスを抱えてしまうからこそ、そのストレスを解決することができる力をもつことが大切です。そのためにも、人に頼るということをもっともっとしてみてください。そうすることで、3年間の中学校生活が大きく変わってくると思います。

これからも素晴らしい中学校生活を送ってください。

<卒業生代表 藤井羽那さんの講話>

私は、3年間中学校生活を送っている中で、部活動や総務委員、音楽会の伴奏者など、様々な活動をしてきました。

その中で、両立が上手くいかず、悩んでしまうときもありました。そんな時、先生方が相談にのってくださり、親身に聞いてくださったおかげで、心が軽くなりました。

このような経験から、私は相談することは、ひとつのよい方法だと思います。今、この話を聞いてくれている皆さんの中には「どうせ相談してもムダ」と思う人もいると思います。ですが、相談することで視野が広がり、自分にも味方がいると思うことができます。だから皆さん、相談することは決して無駄なことではありません。幸いにも皆さんの周りには頼れる人がたくさんいます。例えば、一人ひとりの話をちゃんと聞いてくれる先生方、また身近な人には話辛いという人には相談のエキスパートである「with you」の方々がいます。困ったときは、ぜひ相談してみてください。

皆さんの悩みが少しでも改善され、充実した中学校生活を送ることができるよう応援しています。